

意見書第6号

「生活保護基準の引き下げはしないこと」を国に求める意見書

上記の議案を会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出します。

平成25年3月27日提出

読谷村議会議長 新垣 修幸 殿

提出者 読谷村議会議員 伊佐 眞 武

賛成者 読谷村議会議員 國吉 雅 和

同 仲宗根 盛良

同 津波古 菊江

同 上地 利枝子

同 上地 榮

同 城間 勇

同 伊波 篤

同 知花 徳栄

## 「生活保護基準の引き下げはしないこと」を国に求める意見書

日頃より国民のくらしと福祉のために努力いただいていることに敬意を表します。

国は、老齢加算を廃止し、毎月の生活保護費を約2割減らしました。その結果、「食事を1日2回にした」「知り合いの葬式にも出席できない」など、人間らしいくらしができなくなっています。

国は、現在、生活保護基準引き下げを含めた政府予算案を確定する作業を進めています。

生活保護基準の引き下げは、利用している人たちのくらしをより一層大変にし、最低賃金や年金、就学援助など各種制度に影響します。

国民生活の最低保障基準の土台をなす生活保護制度は国が責任を持って保障すべきです。

以上、地方自治法第99条の規定により、以下の意見を提出します。

生活保護基準の引き下げはしないこと。

平成25年3月27日

沖縄県読谷村議会

あて先

内閣総理大臣、 財務大臣、 厚生労働大臣、 総務大臣